|  |  |
| --- | --- |
| 指導計画: 感情 | |
| 月日: | **クラス:** |
| ALT: | **時間:** |
| 授業のねらい: 感情を表す表現について理解し、周りに伝えようとさせる。 | |
| 留意点: 自分の感情やニーズをよりきちんと伝えるために、感情を伝える練習をすることが特に重要だという話を授業の前にしておく。 | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 活動 | 題材/語彙/表現/ねらい | 教材/教具 | 知能 |
| あいさつ | **日常のあいさつ** e.g., “Hello! How are you today?” “ I’m great, hungry, tired, etc.” (「元気です」の代わりの ‘fine’は受け付けない) | **特になし　　　　感情を表すフラッシュカード**（必要に応じて） | **視覚**（フラッシュカード）　**対人**（あいさつ） |
| 導入 | **幸せなら手をたたこう**  皆で歌う | **歌の録音**（あるいは楽器） | **視覚**（他人の動きを見る）  **音楽**（歌）  **身体**（動き） |
| 学習 | **練習**  教師が話す感情の語について、まねさせる。　　　　　　　　　　　　感情を表す表現を話すときは、その感情を表す動きや表情をさせる  感情について学習するたびに、短めの英作文を書く練習をさせる | **フラッシュカードパワーポイント** | **視覚**（フラッシュカード/  パワーポイント/動きや表情）  **言語**（発音）  **身体**（動きや表情）  **対人**（グループワーク） |
| 活動 | **ホットポテトゲーム**  生徒を円形に座らせ、一人にボールかぬいぐるみを渡す　　　　　　その生徒は音楽に合わせて、そのボールなどを回す　　　　　　　　音楽が止まったときに、手にしていた生徒は英文を言う　　　　　（例、 “I feel .” それからフラッシュカードを見ながら感情表現を演じる） | **ボール　　　　　ぬいぐるみ　　　　　　　　　　　音楽　　　　　　　フラッシュカード** | **視覚**（フラッシュカード）  **音楽**（歌）  **言語**（発音）  **身体**（動き） |
| まとめ | **振り返りとあいさつ**  グループ内で授業の感想とあいさつを言わせる　　　　　　　　　　あいさつでは手を振らせる | **特になし** | **運動**（動き）  **対人**（グループワーク） |

**指導計画の補足**

**幸せなら手を叩こう:**

子どもたちにとってはこの歌は親しみのある歌でしょう。次のようなバリエーションも可能です。

　　　　　　　最初の歌詞: If you’re happy and you know it, clap your hands (\*clap twice\*)

二番目の歌詞: If you’re angry and you know it, stomp your feet (\*stomp twice\*)

三番目の歌詞: If you’re sad and you know it, say “boo hoo”

(\*手で泣くような動きをしながら “boo hoo”と発声する\*)

**練習:**

教師が感情を表す語を話した後で子どもたちに、ぞれぞれの語を繰り返させます。話の後で、全員で、演じたり、適切な表情をすることもできます。例えば、 “sleepy”の場合は、目を閉じたり、あくびをすることができます。動作を実際に行ってみることが語彙の定着に役立つことでしょう。

また、それぞれの語を学ぶごとに、簡単で短い文を膨らませる練習も可能です。

　　　　　　　　　“I feel \_\_\_\_\_\_\_.” (e.g. “I feel angry.”)

“I am \_\_\_\_\_\_\_.” (e.g. “I am sleepy.”)

それらの英文については、参照用として板書したり、パワーポイントで示したりすることもできます。これらの英文学習が終われば、授業開始時のあいさつで、子どもたちにこれらの表現を使わせるとよいでしょう。

「フェース」(<http://www.mrprintables.com/learning-about-emotions.html>)は、練習で役立つ小道具です。教師は「フェース」を使い、感情を表す表情に変えたり、「フェース」が表す感情について、子どもたちに質問したりすることができます。

**ホットポテトゲーム:**

子どもたちを円形に座らせて、一人にボールを渡します。ぬいぐるみでも可。音楽に合わせて、その子どもはボールを他に回します。音楽が止まったら、教師はボールを持っている子どもに、感情を表すフラッシュカード（例　“happy”）を見せます。その子どもは感情を表す英文を言わなければなりません。（例 “I feel happy!”）そして、練習で行ったように、その感情を演じます。教師はヒントなどで助けてもかまいません。もしも、その子どもが恥ずかしがっている場合には、他のボランティアにやらせてもよいでしょう。その後、全てのフラッシュカードが終わるまで続けます。

\***お勧めのＢＧＭ\***: “Happy” by Pharrell Williams

**参照：** Making Face <http://www.mrprintables.com/learning-about-emotions.html>